

目次

前書きに代えて—架空の友への手紙……………	5	VI. 曾禰武, 病をえて物理の研究から遠ざかり, 基督教の伝道に携わろうと欲する……………	193
序. 著者, おのれの無知を悟り, 曾禰武の事績を知ろうと発心する……………	15	VII. 曾禰武, 学士院賞を授けられ, その賞金で自らの教会を開く……………	197
I. 曾禰武, 生を享け, 長じて物理学への恋愛を覚える……………	21	VIII. 曾禰武, 按手礼を受くるを潔しとせず, 教会を閉鎖する……………	218
II. 一高生曾禰武, 本多の知遇を得て, 中禅寺湖のセイシの観測に同行する……………	39	IX. 曾禰武, 開成学園高校長となり, 物理の研究を再開する……………	232
III. 曾禰武, 熱海の温泉調査に本多に随行し, 米人宣教師一家と相識る……………	53	跋. 著者, 曾禰武との因縁に さまざまな思いをめぐらす……………	250
付. 本多光太郎と寺田寅彦, 熱海の間歇泉を研究する……………	66	謝 辞……………	254
IV. 曾禰武, 東京帝国大学理科大学 実験物理学科に入学し, 一年落第する……………	86	付録1. 曾禰武略歴……………	261
V. 曾禰武, 本多の助手として東北帝大に赴任し, 研究に没入する……………	101	付録2. 曾禰の自己紹介……………	269
Vの1. 曾禰武, 渡瀬の風穴と鬼首の間歇泉を 調査・研究する……………	105	付録3. 雑 録……………	270
Vの2. 曾禰武, 本多の元素の磁性の研究を引継ぎ, 物質の磁化率測定に従事する……………	114	備忘録……………	276
Vの2a. 曾禰武, 固体の磁性を研究し, 酸化マンガンの他の磁化率異常を見出す 124		有山兼孝先生のこと……………	276
Vの2b. 曾禰武, 気体の磁性を研究し, 水素の磁化率の測定に成功する 167		宮原将平先生のこと……………	287
Vの2c. 曾禰武, 窒素酸化物の磁性を研究し, 分子磁性学の道へ踏み込む 187		中澤護人さんのこと……………	293
		副題「若き日の魂, ^{ひとよ} 一生を貫く」の由来……………	299
		索 引……………	301